

各位

株式会社JMC

(証券コード：5704)

2022年12月期 第3四半期決算

売上高は前年同期比26.4%増の2,038百万円、営業利益は238百万円

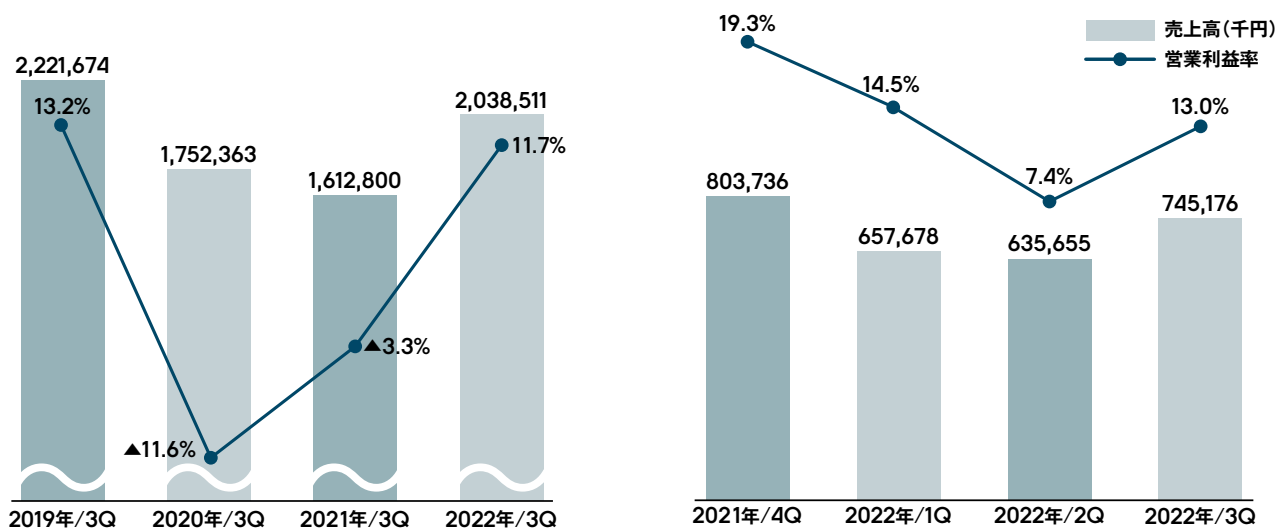
～ 将来への取り組みと並行して当期業績も堅調に推移～

2022年12月期第3四半期（2022年1月～9月）の業績は、売上高2,038百万円（前年同四半期期比26.4%増）、営業利益238百万円（前年同四半期は営業損失52百万円）、四半期純利益183百万円（前年同四半期は四半期純損失4百万円）、1株当たり四半期純利益34.64円（前年同四半期は1株当たり四半期純損失0.79円）となりました。

当社主力の鋳造事業におけるFA（ファクトリーオートメーション）分野は、顧客の製品需要増加を背景に堅調な推移を示し、自動車産業分野では「脱・内燃機関」への取り組みの本格化からEV（電気自動車）搭載用部品の開発ニーズの高まりによる受注が業績を牽引しました。また、CT事業では、顧客の量産自社製品不具合を短期間で発見し、良品選別を実施するための非破壊検査需要が増加し好業績を収めました。

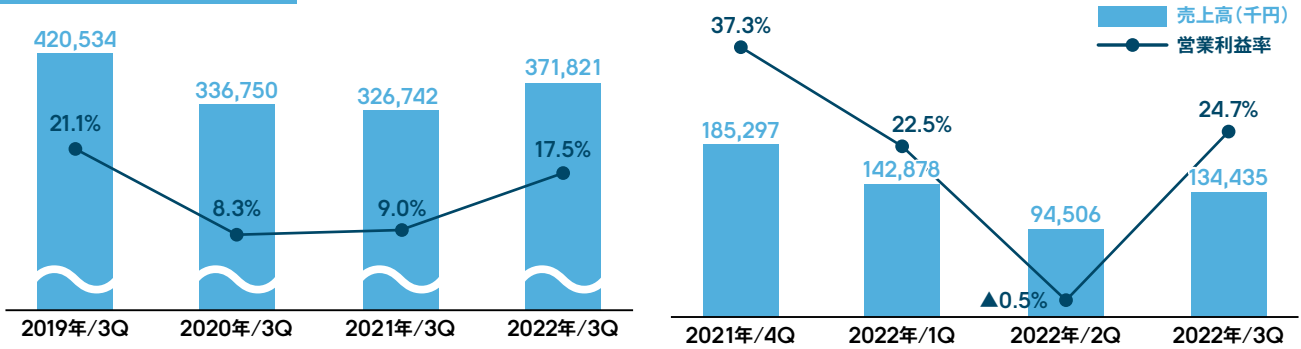
なお、伊豆木産業用地（長野県飯田市）に建設中の、量産用鋳造部品・大型鋳造部品を生産する国内最大規模の非鉄砂型鋳造工場「コンセプトセンター第8期棟」は、資材・部品の供給不足の影響を受け竣工予定が当初より延びたものの、2023年4月の稼働開始に向けて準備を進めております。

業績ハイライト



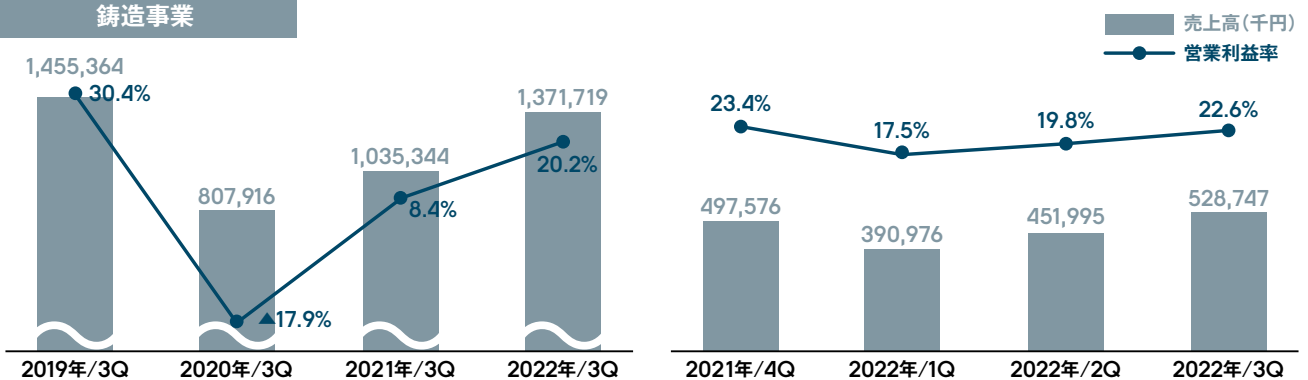
セグメント別業績

3Dプリンター出力事業



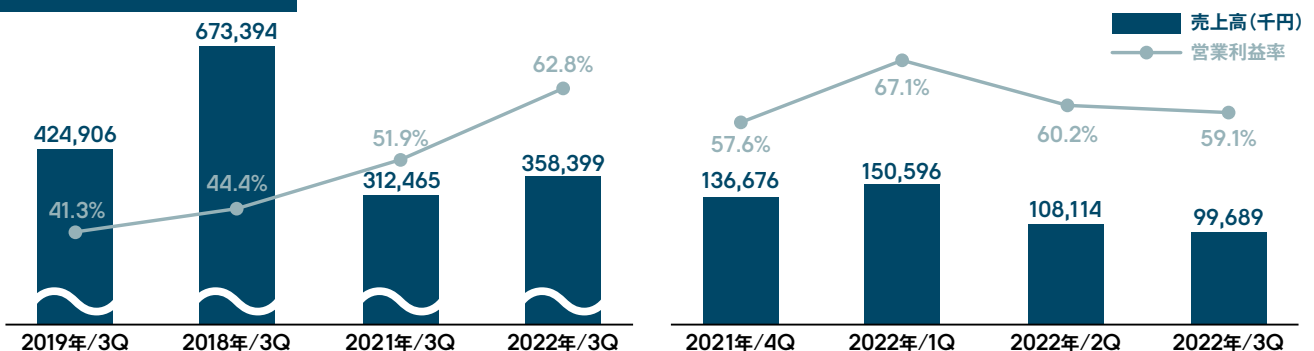
- 短納期・高品質を求められる試作案件獲得のため、社内体制を改善し需要喚起に注力
- HEARTROID(ハートロイド)では世界各地の国際会議・展示会での販促活動により受注を獲得

鋳造事業



- FA分野の量産用鋳造部品は、製品需要の増加を背景に高い受注水準が継続
- EV搭載用の鋳造部品をはじめ、自動車関連の試作案件受注も堅調に推移
- 長野県飯田市、静岡県浜松市の生産拠点間の相互協力により生産活動の改善および効率化が進展

CT事業



- 顧客の自社製品不具合発生時の良品選別への集中的な対応を実施
- バッテリー・次世代燃料電池に関するスキャン対応及びデータ解析需要が増加
- 「ギョギョッとサカナ★スター」出演、展示会のセミナー登壇など、積極的な需要喚起策を推進

今後の見通し

2022年12月期第3四半期の業績は、ロシアとウクライナの戦争状態の長期化に伴う原材料・エネルギー価格高騰や米国の政策金利引き上げの影響による急激な為替変動など、通期見通しの達成には予断を許さない状況が続いているものの、当四半期まで高い進捗率を維持しており、一部の事業セグメントでは想定を上回る成果を獲得できております。

当社では各事業セグメントで進めている施策を通じて、当事業年度の見通し達成を確実なものとしてまいります。

なお、決算関連資料等につきましては、当社ホームページ(<https://www.jmc-rp.co.jp/>)よりご覧ください。

問い合わせ先

株式会社JMC

経営企画室

TEL: 045-477-5751 E-MAIL: ir@jmc-rp.co.jp

(注意事項)

本資料は、当社の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、いかなる情報も、当社が発行する株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイスの目的で作成されたものではありません。

本資料に掲載されている情報には、当社に関する将来予測や業績予測が記載されていますが、これらは潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。業績結果が経営環境の変化などによって、見通しと異なったものになる可能性があることをご承知おきください。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましては、その責を負いかねますのでご了承ください。